

**環境学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同  
SDGs のための資源・材料の循環使用検討分科会  
第 24 期・第4回会議議事録**

- 日時： 2020 年 8 月 20 日 (木) 15:00～17:00
- 会場： 所 千晴 副委員長自宅 (オンライン会議)
- 出席者： 中村 崇 (委員長) ・所 千晴 (副委員長) ・岡部 徹 (幹事、記録) ・安達 毅 (幹事) ・大和田 秀二・月橋 文孝・笹木 圭子・平尾 雅彦・伊藤 公久・森田 一樹・林 幸・齊藤 公児・森口 祐一・村上 進亮 (特任連携会員)
- 欠席者： 河野 佳織
- 配布資料： 議事次第 (1ページ)  
資料 1 第 24 期・第 3 回会議議事録 (2ページ)  
資料 2 環境対策シンポジウム (報告) (1ページ)  
資料 3 SDGs に及ぼす資源・材料の循環使用シンポジウム (報告) (1ページ)  
資料 4 森口委員による公開シンポジウムまとめ (3 ページ)  
資料 5 岡部委員によるSDGsシンポジウムイベント (案内) (1ページ)

■議 題

- (1) 前回議事 (第3回2019年1月15日(火)15:00～15:45)はすでに事前のメールにより確認が行われているので、報告のみとなった。次回も同様に議事録の確認をメールにより行うことが中村委員長より提案され了承された。
- (2) 昨年の活動報告 (主に、SDGsに及ぼす資源・材料の循環使用シンポジウム等の活動について) が所 副委員長から行われた。
- (3) 次期分科会の運営方針について話し合われた。  
具体的には、分科会が今後、どのような活動を行っていくかについて話し合われた。  
中村委員長から、現状では、SDGsにおいて「資源・材料の循環使用の意義」が重要なこととして捉えられていないとの指摘があった。この現状を踏まえ、当分科会としては、本分科会が取り組んでいる事案をしっかりと日本学術会議から「提言」する必要があるとの意見があった。  
森口委員から、現在のサーキュラーエコノミーや炭素循環の取り組み等について紹介があり、日本の政策や科学技術の動向について説明があった。
- (4) 「提言」を材料工学から出すのか、総合工学から出すのかについて、議論が行われた。
- (5) 平尾委員から、プラスチック類の資源循環の重要性について説明があり、この分野の連携会員を増やすべきとの意見があった。
- (6) 資源消費の低減、リサイクルの推進、排出CO2の削減・消費エネルギーの削減などについて、今後議論すべきことについて話合われた。
- (7) その他(今後のシンポジウム等の報告、来期の委員について)

以上